

国際交流つうしん



P.2 まちで見つける世界の扉～成田市編～



P.5 日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 南房総～

目次

- P.2～3 まちで見つける世界の扉 ～成田市編～
P.4～5 事業報告（令和4年3月～6月）
今後の行事予定
P.6 あなたの町の国際交流・協力団体 ～CHIEVO～
P.7 JICA千葉デスクのページ
P.8 千葉県から世界へ！ ～ベナン共和国～

広告

「日本語を教える」としたら

スリーエーネットワーク

好評発売中



斎藤明子・田川麻央・
森田亮子・小谷野美穂 著
1,320円（税込）B5判

試験合格のポイント狙い撃ち！

**JLPT文法N3
ポイント＆プラクティス**

本シリーズ3つのポイント

- ・限られた時間でポイントを絞って効率的に学べる
 - ・試験と同形式の練習問題で、出題形式に慣れる
 - ・英・中・ベトナム語の解説が充実。独習にも使える
- 発売中のシリーズラインナップはこちらから



最新刊や教材の使い方セミナーの情報等は <https://www.3anet.co.jp/>

広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は
**出入国在留管理局への出頭が
免除**されるので、**仕事や学業に
専念**することが可能です。

お問い合わせは…



千葉県行政書士会

www.chiba-gyosei.or.jp/



〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL：043-227-8009 FAX：043-225-8634



まちで 見つける 世界の扉

～成田市編～



千葉県国際交流センター 渡辺

多文化共生マネージャーとして、外国人講師と中学生・高校生をつなぐ「多文化共生開発講座」をはじめ、語学ボランティアのコーディネート、災害時の外国人支援、広報等を担当しています。みなさんと国際交流の楽しさを共有できたら嬉しいです！



千葉県国際交流センター 浅井

育休中に日本語教師養成講座420時間を受講し、地域日本語教育や外国人のための無料法律相談などの相談業務を担当しています。県内各地にお邪魔して、外国人コミュニティの皆さまとつながっていただきたいと思います。

千葉県には、タイ国籍の5,733名（R3.12末日/千葉県国際課）の方が住んでいて、県内の外国人数の中で6位にランクインしています。今回は、人口の9割以上が仏教徒というタイの方たちにとって身近な寺院や、日本人のファンも多いタイ料理店を取材し、皆さまに情報をお届けするため、成田市に行ってきました！海外旅行に行くことが難しい今、千葉でタイを感じることができました。取材に快く応じてくださった関係者の皆さま、ありがとうございました。

ワット・パクナム日本別院

ワット・パクナム日本別院は、成田市中野に位置し、約2千坪の広大な敷地に本堂、サーラー（大食堂・休憩所）と事務室、2階建ての僧侶宿泊棟（10室）、5階建ての一般宿泊棟（50室）を備えています。僧侶は、取材日の時点では、5名ほどで、いずれもタイの方です。本院は、タイのバンコクにあり、エメラルド色の仏塔と天井に描かれた仏画の美しさが日本人にも人気がありますが、成田市にある別院も写真映えのするカラフルで美しい建物がメディアやSNSに取り上げられ、一躍有名になりました。

タイの方たちにとっては、寺院に行くということは身近なことで、手作りのお料理を持参して参拝に来るタイ人の方も多いそう。タイの方たちにとって、互いに交流をしたり、相談をしたりと安心できる居場所になっているようです。

取材当日は、私たちスタッフも温かく迎えていただき、ゆったりとした空間で、じっくりと見学することができました。

ワット・パクナム日本別院

〒287-0237 千葉県成田市中野294-1 <http://pakunamu.net/>



本堂

100名以上入ることができるという本堂。青い屋根、金色の装飾と大理石が素敵な外観は、日本の寺院とは全く異なり、まるでお城のよう。

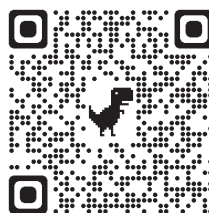
のどかな田畑風景の中で、ひときわ目立つ建物に吸い込まれるように入っていくと、思わず歓声を上げてしまうほど美しいカラフルな壁画や黄金の仏像を見ることができました。幻想な壁画に見入って、何時間でも過ごせそうでした。

本堂は、どなたにもオープンで、毎日だいたい朝9時頃から夕方5時頃までは開いているそうです。皆さんも、タイを感じに、ぜひ足を運んでみてください。



その他の施設

ワット・パクナム日本別院は、本堂のほかにも素敵な施設がたくさんあり、見ごたえ抜群でした！取材班もタイに訪れた気分を皆さまにもリアルにお届けできるよう、ノリノリで撮影しましたよ。本紙では、全てをお見せすることはできないのですが、鮮やかな施設をビデオ撮影させていただきました。動画をYoutubeで公開していますので、下のコードを読み込んで、ぜひご覧ください！



パラ・ラチャウィテートさんにお話を伺いました！

和尚であるパラさんは、9年前に来日したそうです。優しいまなざしと気さくで笑顔が素敵なパラさん、突然のインタビューにも、快く応じてくださいました。

ワット・パクナム日本別院には、千葉県内だけではなく、東京や茨城など各地からタイの方が参拝に訪れるそうです。タイの方がお寺に足を運ぶのは、自分や家族の誕生日、身近な人が亡くなったとき、相談や悩みごとがあるときなど様々。参拝客もお昼を持参して、みんなで昼食を囲むことも多いのだとか。日本に住むタイの方にとって、ホッとできる居場所になっているとともに、”お寺に行けばいろいろな人に会える”交流の場にもなっているそうです。

地域にもオープンで、イベントの際にはタイの方たちがボランティアで屋台を出すそうですが、大きなイベントだと70店舗ほどの屋台が出て大盛り上がりだとか。タイ料理、ラーメン、コーヒーなどを味わうことができるそうです。次回、10月30日（予定）に大きなイベントがあるとのことですよ！

また、日本各地の寺院とも交流を行っているそうです。宗教の枠にとらわれないつながりに大変温かさが感じられました。

パラさんをはじめ、関係者の皆さま、心のこもったおもてなしをありがとうございました。



バーン・プータイ

JR成田駅より徒歩約3分、成田山新勝寺に向かう表参道に位置するタイ料理店。かわいらしいタイの小物や装飾が素敵な店内はとても清潔で、居心地のよい空間でした。



オーナーの今田さんにインタビュー！

成田山新勝寺を訪れる方だけではなく、地元のリピーターがとても多いそうです。中には週に複数回訪れる方も。また、外国の方も多く、パイロットやCAの方も本格的なタイ料理を求めにいらっしゃるのだとか。

タイ国商務省の厳しい審査に合格したタイ料理店に与えられる“タイ・セレクト”の認定を受けており、本格的なタイ料理を提供しています。従業員は全員タイの方で、辛さ以外は日本人向けにアレンジなどはしていないそうです。

オーナーの今田さんより皆さまに一言メッセージ

100%美味しいタイ料理になっておりますので是非お越しください！

バーン・プータイ 成田市花崎町533 TEL：0476-23-0224

いただいたメニューはこちら！



ガパオライス

※個人の感想です

お店の看板メニュー。本格的な甘辛いソースで味付けされた鶏肉とパプリカ、シャキシャキの野菜、半熟の目玉焼きが絶妙にマッチして、とても美味しかったです！



ガーリックチキン

ご飯の進むガーリックチキンは元気が出ました。暑い時期にぴったり一品です！セロリの香りが美味しい優しい味のスープ、サラダ、デザート付。

トムヤムクンスープ



サイドメニューのトムヤムクンスープは、酸味が食欲をそそる奥深い味で手が止まりませんでした！

生春巻き



サイドメニューの生春巻きは、野菜がたっぷり、スイートチリソースとの相性抜群でした。

取材メモ

千葉県で外国を感じることができる施設やレストランを紹介する「まちで見つける世界の扉」の取材の魅力は、取材先で働く人たちとお話をすることで、その場所の大切さや思いを感じることができることです。ガパオライスが自慢のバーン・プータイでは、タイの料理を日本の方においしく味わってほしいという真心が伝わってきました。気さくな和尚さんが印象的だったワット・パクナム日本別院では、在日タイ人の方に寄り添う、大変意義のある施設であることや、地域とのつながりを大切にされていることもわかりました。今後も千葉県の外国人コミュニティの方々とつながり、ともに多文化共生・国際交流を推進していけるよう努めたいと思います。



あなたの町にある、「行ったことはないけれど気になる」エスニックレストランや、「イチオシ！」お勧めのレストランはありますか？ 次回の取材の参考にしたいので、ぜひ教えてください。

◆情報はこちらまで◆ 国際交流つうしん担当：(Email：ied@ccb.or.jp)

◆外国人相談基礎研修 3月1日（オンライン開催）

令和4年3月1日、外国人相談基礎研修をオンラインで開催し、東京出入国在留管理局・在留支援部門の建山氏より「在留管理制度の基礎知識」、千葉県精神保健福祉センターの林氏より「外国人のメンタルヘルス」についてご講義いただきました。外国人相談担当者や日本語学習支援者等を中心に103名の参加があり、「今後、参考資料を基に『在留管理制度』について勉強会を始めたい」、「相談者だけでなく相談される側のメンタルヘルスにも触れられ、とても有意義で実践的な研修でした」等の感想をいただきました。

担当者のこだわり！

在住外国人の相談は離婚、職場でのトラブル、事故に巻き込まれた時の対応など、多岐にわたりますが、根っこのところは異文化理解にあるようです。相談者がパニックになり電話をかけてくることもあります。それを傾聴し整理する中で解決していける場合も多いです。専門家でなければ解決が難しい場合は、無料の法律相談で弁護士や行政書士に相談することもできます。外国人が孤立することなく、日本の社会に溶け込めるようお手伝いしています。



担当者：秋元伸子
(外国人相談担当)

得意の英語を生かして日々奮闘中。
物腰が柔らかく、丁寧な対応が好評です。

◆多文化共生開発講座 @千葉市立磯辺中学校 6月15日・16日

令和4年度自治体国際化協会が助成する「多文化共生のまちづくり促進事業」に採択された多文化共生開発講座は、外国人講師のキャリアや異文化体験談に触れ、多様なバックグラウンドを持つ人々の考えや生き方を理解するための参加型ワークショップです。今回はペルー出身の上村寿安カルロスさんが千葉市立磯辺中学校の1、2年生を対象に講演しました。

サングラスをかけたペルーの怖い校長先生の写真や、「ペルーのパーティには時間通り来ないで！」と、ジョークを交えた日本との時間感覚のギャップには生徒さんたちも大爆笑でした！



◆国際協力パネル展 6月21日～27日

千葉県ユニセフ協会、千葉県、JICA東京と共に、そごう千葉店ギャラリースペースで国際協力パネル展を実施しました。地域日本語教育推進事業、多文化共生出前講座・開発講座、ボランティア活動等の当センターの取組を写真やパネルを使って紹介しました。

外国人のための無料法律相談

千葉県に住む外国人の方を対象に、無料で法律相談を実施しています。（予約制・通訳の申込は10日前まで）

【相談内容の例】

- ・ **弁護士** への相談：離婚、労働問題、事故、相続、人権侵害等
- ・ **行政書士** への相談：在留資格の申請・更新・変更、起業手続き等



申込先：
千葉県国際交流センター
法律相談担当 TEL：043-297-0245

◆今後のスケジュール

13：00～16：00（相談時間45分/人）

日程	弁護士	行政書士
8月8日（月）	○	
9月5日（月）	○	○
10月3日（月）	○	
10月31日（月）	○	
11月12日（土）	○	○
12月5日（月）	○	
1月14日（土）	○	○
1月30日（月）	○	
2月13日（月）	○	
3月6日（月）	○	○

◆日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 南房総 6～7月（オンライン・一部対面）

令和3年度に引き続き、本年度も「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を開催しました。第一期は新たに日本語教室が立ち上がった南房総エリアを支援活動対象地域として、6月5日～7月2日（原則土曜日、全5回）に実施し、21名が修了しました。昨年はオンラインのみでの開催でしたが、今回は講座の一部を千倉保健センター（南房総市）にて対面での開催が実現しました。

当日は、南房総市に住む外国人の方と一緒に、活発にグループワークを行いました。皆様が楽しそうにお話されていた様子が印象的で、対面開催のよさを改めて実感しました。

第二期は支援活動の対象地域を千葉県全域とする予定ですので、是非皆様のご参加をお待ちしております。



地域日本語教育コーディネーターのご紹介



油川美和
地域日本語教育
コーディネーター

千葉県国際交流センターでは今年度より「地域日本語教育コーディネーター」を新たに配置し、油川（あぶらかわ）美和氏が着任しました。講座のコーディネートや新たな日本語教室の立ち上げに関するアドバイスなど、県内の地域日本語教育に関する様々な業務に対応しています。日本語教育関連でご相談したいことがありましたら、センターまでお問合せください。

（お問合せ先：nihongo@ccb.or.jp）

私は地域日本語教室に始まり、外国ルーツの子どもたち、日本語学校、技能実習生などたくさんの方に日本語を教えてきました。その中でも地域日本語教室は、多様な人々が集まり、様々な可能性を持っていると感じています。日本語を学びたい、地域の人と交流したいという生活者としての外国人と日本人住人、双方にとっての活動の場、安らげる場としてのサードプレイスになれるよう、今後さらにその役割が重要となってきます。その中で私は千葉県地域日本語教育コーディネーターとして、現場のニーズを把握し、課題解決に向けて少しでも皆様のお役に立てるよう務めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

今後の行事予定

事業	内容	時期(予定)
多文化共生開発講座	外国人講師による出身国の紹介と、ディスカッション等を中心としたクラス授業の実施	随時
日本語学習支援者基礎講座	初心者を対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座	10～11月
日本語学習支援者フォローアップ講座	日本語学習支援の活動のヒントを学ぶ講座	9～10月
地域日本語教育関係者ミーティング	日本語学習支援の活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議	9～3月
語学ボランティア講座	MICE関連事業や障がい者サポート等におけるボランティアとしての活動を見据えた講座	年1回
外国人相談基礎研修	在住外国人の生活支援に役立つ、基礎的事項を学ぶ講座	9～3月
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演・意見交換会	9～3月
国際理解セミナー	県民に広く、国際理解を図る講座	年3回
国際交流・協力等ネットワーク会議	民間国際交流団体や、市町村国際交流協会担当者による情報交換	年1回
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座	12～1月

千葉県国際交流センターHP&SNS

千葉県国際交流センターでは、センター主催のイベントや県内の国際交流・協力団体の情報のほか、各種相談窓口や日本語教室のリストなど、外国の方にも役に立つ情報をホームページで紹介しています。またFacebook・Instagram・Twitterで最新情報も発信していますので、ぜひご覧ください。

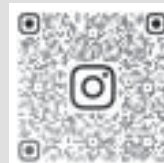
HP



Facebook



Instagram



Twitter



私たちは千葉市の通訳講座を受けた方を中心に5年前結成された千葉市国際交流協会に属する、通訳や翻訳のボランティア活動をしているグループです。現在のメンバーは約20人弱で、アクティブに学習会や通訳活動に参加しているメンバーは6～7人です。メンバーには海外で暮らされていたり、仕事をしておられた方が多く、現役の検察庁通訳や元通訳ガイドの方もおられます。活動は学習会の他、依頼を受けての通訳や翻訳、自主的に翻訳やホームページを作成する活動に分かれています。



【学習会】

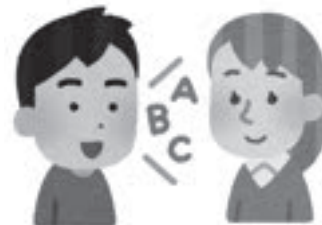
月に一度、2時間程度行っています。以前は対面で実施していましたが、最近ではコロナの問題でZOOMを使って行っています。

NHK World News、ABC news、CNN Newsなどのビデオや音声ファイルを使ったシャドーイング、サイトトランスレーションなどを行っています。ホームページ (<https://chievo.lovejapan.org/>) に音源をアップして必要に応じて再生速度を遅くしたりして聞き取っています。あとは通訳活動で行った内容を基にしたスクリプトによるロールプレーなどを行っています。

【依頼による通訳や翻訳活動】

市や県の国際交流センター、保健所、市役所、警察などからの依頼による様々な活動を行っています。通訳や翻訳といっても単なる通訳や翻訳から、ゴミ出しや保育園の申請など生活相談まで行っています。複雑な依頼では、依頼者自身が間違った内容で依頼してくるときもあり（公的支援の申し込みなど）かなりの調査や関連機関とのやり取りなど、手間と期間が必要とされることもあります。（時によっては数か月必要な依頼もあります）

依頼はメール（gea03430@nifty.com）や電話（080-2057-5697）で受け付けています。



【自主活動】

依頼されてから活動するのではなく、Proactiveに予防接種の通訳などで必要になる予診票の対訳や各種申込書を予め翻訳し、ホームページ (<https://chiba.lovejapan.org/>) に掲載し、保健師さんや依頼者の記入の助けになるようにしています。また市から送られてくるコロナの予防接種券やがん検診の説明文書、クリニックから依頼者に渡される各種パンフレットなども翻訳し閲覧できるようにして、通訳の時に活用出来るようにしています。これからは県や市とも連携を図って活動をより地域の外国人の方々への助けとなる活動にしていきたいと思っています。

<お問合せ> CHIEVO 2017

TEL : 080-2057-5697 (担当 : 宮本)

E-mail : gea03430@nifty.com



新型コロナウイルス感染症、子育て情報、がん検診のパンフレットなど様々な情報を英語で発信中。HPをぜひご覧ください。

事務所を移転しました！

千葉県国際交流センターは、5月1日に事務所を移転しました。新しい事務所は海浜幕張駅北口から徒歩2分程の所に位置する「幕張テクノガーデン」のD棟14階にあります。

以前の事務所とレイアウトは似ており、講座の開催時などに利用する研修室や、皆様に広くご利用いただけるオープンスペース「交流サロン」がございます。「交流サロン」には、外国人の方の生活やお困りごとに役に立つ各種パンフレットの他、地域日本語教育を始めとした書籍も数多くございます。

お近くにお越しの際は、是非お気軽にご来所ください。

所在地：〒261-8501 千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデン D棟 14F



JICAニュース ～続々と進むJICA海外協力隊派遣～

新型コロナウイルスの感染拡大が少し落ち着いた昨今、5、6月にJICA海外協力隊新規募集が行われました。コロナ禍では開発途上国での受け入れ体制や要請不足で募集数も応募者数も減少しておりましたが、今回の募集ではコロナ前と同じ水準で応募がありました。

2020年3月に全世界から全協力隊員が帰国しましたが、その後再派遣や新規派遣も進み、6月末時点で千葉県にゆかりのある協力隊員が15名派遣されており、今夏新たに6名が派遣されます。

コロナ前と違い、現地での生活や活動における制限も増えていますが、今後も健康と安全を確保しつつ、開発途上国の現地の方と協力し合いながら現地の課題解決を進めていきます。

協力隊レポート <古矢恵隊員/松戸市出身/ヨルダン派遣>

活動地：ヨルダンの首都アンマン

職種：障害児・障害者支援

配属先は特別なニーズを持つ子供たちに対応する教育を提供するため、1970年代に設立されたセンターで、軽度から中等度の知的障害を持つ人々を助けるアラブでも先駆的なモデル施設です。幼稚部門、学校部門、職業訓練部門の3部門に分かれており、幼稚部門と学校部門の美術を担当しています。ヨルダンの子供たちは日本の子供たちのように小さいころから絵を描いたり工作をするという習慣がありません。ものづくりを苦手とする子どもが多いです。しかし、経験が少ないというだけで授業中は楽しそうな笑顔が印象的です。



お気に入りグルメ

こちらはマンサフというヨルダンの伝統料理です。ジャミードと呼ばれるヤギのドライヨーグルトで煮込んだ羊肉や鶏肉を、スパイスの炊き込みご飯にのせヨーグルトソースをかけて頂きます。マンサフは羊肉の匂いと独特なジャミードの風味があるため、人によって好き嫌いが分かれます。私の場合は、食べてみると意外にもスパイスの効いたご飯とヨーグルトの酸味の相性がよく、大好きになりました。ヨルダンに来ることがあれば、ぜひ試してみてください！

JICAについての問い合わせはコチラまで

千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク

国際協力推進員 木村 明日美

TEL：043-297-0245 / 090-4024-0441

FAX：043-297-2753 E-mail：jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp





千葉県から世界へ!

ベナン共和国



※外務省ホームページより引用

綿貫大地さんは、JICA海外協力隊として、2017年より2年間、コミュニティ開発の職種でベナン共和国に派遣されていました。協力隊の活動が終了した後、ベナンで起業し、現地での社会貢献を続ける綿貫さんにベナンについて教えていただきました。

ベナン共和国の概要

ベナン共和国は西アフリカに位置し、ナイジェリアなどの4か国と国境を接していて、南は大西洋のギニア湾に面しています。面積は日本の約3分の1ですが、人口は約10分の1程度です。キリスト教徒やイスラム教徒もいますが、古くから伝わる民間信仰であるブドゥー教の発祥地であり、今でも人口の20%ほどが信者であると言われています。他のアフリカの国と同じように、多数の部族が暮らしており、ベナンにも46の部族があります。年間を通して高温多湿で、雨季と乾季があります。北部と南部で気候が異なるのもベナンの特徴の一つです。北部では、年末年始にサハラ砂漠から乾燥した砂を含んだ季節風“ハルマッタン”が吹き、その影響で朝晩はとて寒くなります。主要産業は農業と港湾業。トウモロコシ、綿花、カシューナッツ、ヤシ油、パイナップルなどを生産しています。

現地での活動や印象に残ったエピソード

コミュニティ開発隊員として派遣され、日本でいうJAの地方支所に配属されていました。野菜農家グループと一緒に活動をし、SHEP(市場志向型農業振興)アプローチを、協力隊が実施できるようカスタマイズして、野菜農家のための収入向上プロジェクトを実施しました。派遣されていた2年間の間に、任地の野菜農家グループの利益を14%向上させることに成功し、他の地域の野菜農家や農業系隊員に向けて研修活動も行っていました。



さらに、障がい者グループとも活動をし、彼らの新たな収入源を作るために、マイクロファイナンス機関と障がい者グループをつなげ、ウサギの養殖のための初期投資費用の調達に成功。実際に養殖も行い、期日通りに銀行への返済をした上で利益を得ることができました。

現在の活動との接点

協力隊活動後、コロナの影響もあり日本に滞在していましたが、2021年にベナンに戻り会社を設立しました。協力隊活動の延長というかバージョンアップというか。さらに持続的に農家さんのためになるようなことを、ビジネスというツールで実現したいという想いでAgri-Missionという会社を作りました。ベナンの農家さんに経済的に豊かになってもらいたい。そして一人でも多くの自立した農家さんを増やしたいという経営理念のもと、協力隊時代に一緒に活動していた野菜農家グループのリーダーと共に設立しました。現在の主な事業は、野菜の配達サービスです。農村部の農家さんから野菜を購入し、都市部までまとめて輸送し、都市部では弊社の店舗もしくはお客様の住居やオフィスまで配達をして、農家さんが作ってくれた新鮮で安全な野菜や果物を都市部のお客様に直接お届けしています。現在はベナン全体に20を超える野菜農家グループから野菜や果物を購入しています。今後も規模を拡大し、より多くの農家さんと取引ができるようにがんばっていききたいと思います。



■会社HP: <https://web.facebook.com/Agri-Mission-109098274618219>

■YouTubeショート: <https://www.youtube.com/channel/UCJZWwS-allcjrpfaweu1Ug>

■TikTok: https://www.tiktok.com/@rikaanddaichi_in_benin

夫婦で
ベナン生活の
ショートムービーも
投稿しています!

国家資格化前の今が狙い目 日本語教師養成講座

専門スタッフによる学習相談会開催中!

文化庁届出受理講座420時間カリキュラム対応。
資格取得のスケジュールや国家資格化の状況などを
ご説明いたします。ぜひお気軽にご相談ください。



自宅で
学べる



「仕事やボランティアで外国人に母語を教える難しさに直面し、日本語教育の知識を身につけるため受講しました。」

羽鳥美有紀さん
(城西国際大学 語学教育センター)



千葉校 0120-84-4149

千葉市中央区富士見2-7-5 富士見ハイネスビル3階

※1 自社調べ: 修了生数87,701名 / 1997年10月~2019年11月現在 全国23校舎 ※2 受講生・修了生のうち、内定獲得数 / 2019年度
※3 ヒューマンアカデミー修了生受検者305名中 合格者212名 累計3,738名 / 2021年実績

ヒューマンアカデミー



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-8501 千葉市美浜区中瀬一丁目3番地 幕張テクノガーデンD棟14階
TEL: 043-297-0245 FAX: 043-297-2753 E-mail: ied@ccb.or.jp

事務所が
移転しました!

<https://www.mcic.or.jp/へgo!>

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)